

平成30年 8 月30日 招集

平成30年門真市教育委員会第8回定例会

議 案 書

門真市教育委員会



議事日程

門真市教育委員会第8回定例会  
 平成30年8月30日（木）午後2時  
 本館2階大会議室

| 日程 | 事件番号   | 件名                                  | ページ |
|----|--------|-------------------------------------|-----|
| 第1 |        | 会議録署名委員の指名                          | —   |
| 第2 |        | 会期の決定                               | —   |
| 第3 | 議案第25号 | 門真市生涯学習複合施設の既存の市有施設の活用等を踏まえた報告書について | 1   |
| 第4 | 議案第26号 | 平成30年度全国学力・学習状況調査結果の公表について          | 10  |
| 第5 | 議案第27号 | 平成30年度教育費補正予算の見積り申出について             | 12  |
| 第6 | 議案第28号 | 門真市教育委員会点検・評価報告書の提出について             | 14  |
| 第7 |        | 諸報告                                 | 15  |

## 議案第25号

門真市生涯学習複合施設の既存の市有施設の活用等を踏まえた  
報告書について

門真市生涯学習複合施設について、門真市長に報告するにつき、門真市教育委員会の議決を求める。

平成30年 8 月30日 提出

門真市教育委員会教育長 久木元 秀平

### 提案理由

平成30年 3 月19日開催された門真市総合教育会議において門真市長より生涯学習複合施設のあり方について再検討の要請を受け、教育委員会において検討した内容を門真市長に報告するにつき、本案を提出するものである。

# 【案】

平成 30 年 月 日

門真市長  
宮本 一孝 様

門真市教育委員会

## 門真市生涯学習複合施設の 既存の市有施設の活用等を踏まえた報告書

### はじめに

生涯学習複合施設については、平成 24 年 9 月に建設に向けた基本コンセプト、整備方針などを示す「門真市生涯学習複合施設建設基本構想」を策定し、平成 25 年 3 月に設計の指針となる「門真市生涯学習複合施設建設基本計画」を策定した。

この生涯学習複合施設は、図書館機能と文化会館機能を併せ持つことにより、利用者同士の交流の活性化、書籍等の学習資料の活用が一体的である学習活動環境の充実、周辺地域への効果として様々な主体が集まることによる賑わい創出など、相互の施設の機能を補完しつつ、また文化学習施設として相乗効果が大きく期待されている。

平成 30 年 3 月 19 日開催の門真市総合教育会議において、市長より、これまでの京阪古川橋駅北側の門真市立第一中学校跡地活用についての市議会などの議論や、市内のまちづくりの状況の変化、本市の厳しい財政状況を踏まえ、既存の市有施設の活用等も含めた生涯学習複合施設のあり方について、再検討の要請があった。

このことから、生涯学習複合施設に関して、学識経験者や利用者等から多面的な意見をいただきながら検討を重ねてきた。

### 検討経過

平成 30 年

4 月 20 日 教育委員会第 4 回定例会では、生涯学習複合施設の機能を検討するにあたり、事務局に対し、既存の市有施設の活用を検討するための資料の作成

を指示するとともに、検討期間の延長に関し、教育長を通じて市長へ依頼した。

5月25日 教育委員会第5回定例会では、事務局より生涯学習複合施設建設予定地の周辺に位置する市有施設のうち、文化会館、公民館、門真市民文化会館ルミエールホール、市民交流会館中塚荘の各諸室における利用状況について確認した。

6月22日 教育委員会第6回定例会では、既存施設の利用率をもとに、生涯学習複合施設と既存施設との機能連携や機能分散の可能性について検討した。

その際、門真市生涯学習複合施設建設基本計画における図書館機能を核とし、関係附属機関等の意見を踏まえつつ、導入する機能で設定された諸室を集約するとともに、建設・維持管理コストの観点や、都市再生整備計画事業などの交付金導入に向けて調整を図るという方向性を確認した。

6月29日 公民館運営審議会が開催され、生涯学習複合施設建設基本計画の概要や市の財政状況、まちづくりの状況、施設の利用率や施設配置イメージ図などについて資料を基に、総合教育会議以降の経過を含めて事務局より説明し、各委員からご意見をいただいた。

7月2日 社会教育委員会会議が開催され、公民館運営審議会と同様に生涯学習複合施設建設基本計画の概要や市の財政状況、まちづくりの状況、各施設の利用率や施設配置イメージ図などについて資料を基に、総合教育会議以降の経過、他の計画との整合性について事務局より説明し、各委員からご意見をいただいた。

7月25日 公民館運営審議会の委員長より自由意見の抜粋と、社会教育委員会会議の議長より意見書が教育委員会に提出された。

7月26日 教育委員会第7回定例会では、公民館運営審議会と社会教育委員会会議からの意見の報告を事務局より受け、詳細な状況等を把握するため、公民館運営審議会の委員長兼社会教育委員会会議の議長である萩原委員を第8回教育委員会定例会に出席を求めるよう事務局へ依頼した。

さらに、生涯学習複合施設内で機能集約の可能性と既存施設との連携による集約の可能性を検討した。

7月31日 「新・生涯学習複合施設建設に向けての意見交換会」を開催し、より良い施設、より利便性の高い施設としていくため、実際に施設を利用する市民のご意見をいただいた。

8月30日 教育委員会第8回定例会では、公民館運営審議会の委員長兼社会教育委員会会議の議長である萩原委員から、両会議の経過について詳細の説明を受け、再検討の取りまとめに盛り込むべき内容の意見をいただいた。

## 検討内容

門真市生涯学習複合施設建設基本計画における施設構成モデルを基に、複合施設の各諸室において、複合施設内での機能集約と既存施設との連携について、文化会館の他、門真市民文化会館ルミエールホール、市民交流会館中塚荘、公民館の利用率を比較検討し、各施設の利用実態に関して利用者の声を参考に、下記のとおり検討するに至った。

### ■複合施設内での機能集約に関して

- 図書館部門では、情報通信機能にある「情報検索ゾーン」は、付帯部門の情報発信機能にある「情報発信工房」のパソコンやプリンターなどの機器を併用することで、集約する。
- 文化会館部門では、学習・創造機能にある「個人学習室」は、個人の学習と研究のための個室を設けることで、図書館部門の調べ学習機能にある「研究個室」に集約する。
- 文化会館部門の学習・創造機能にある「絵画室、工作室、和室」は、現実には会議室としての利用も少なくないことから、用途を限定した諸室を設けるよりも、利用者の多様な文化・学習活動を行えるよう、室内の設備を工夫した「会議・研修室」に集約し、多様な機能を持った諸室として「多目的室」に集約する。
- 文化会館部門の発信・体感機能である「展示ギャラリー」は、施設に出入りする利用者の目に留まるよう付帯部門の滞留機能である「エントランス」に集約する。さらに、同滞留機能である「交流・休憩スペース」を気軽に立ち寄れる憩いの空間となるよう「展示ギャラリー」を併設する。
- 文化会館部門の発信・体感機能である「ホール」は、2室を1室と縮小しながらも、効率的な運用を図るため、パーティションにより分離して活動できるように整備する。

### ■既存施設との連携に関して

- 図書館部門では、市内の既存施設との連携による諸室の活用の可能性は見込めない。
- 文化会館部門では、学習・創造機能にある「会議・研修室（複数）」の一部は、門真市民文化会館ルミエールホール及び市民交流会館中塚荘にある会議室等を活用する。
- 文化会館部門の学習・創造機能にある「調理室」は、公民館の調理室や周辺地域の学校施設内の家庭科室を活用する。
- 文化会館部門の学習・創造機能にある「和室」は、門真市民文化会館ルミエールホール及び市民交流会館中塚荘にある和室を活用する。
- 付帯部門では、飲食機能にある「カフェ」は、同部門の滞留機能にある「交流・

休憩スペース」内を飲食可能なスペースとして活用しつつ、隣接する商業ゾーンとの連携を図り、テナントやカフェを活用する。

- 付帯部門の子育て支援機能にある「キッズパーク」は、子どもの知的好奇心を刺激するような遊具の設置に関しては、市立総合体育館の幼児体育室を活用する。また、同機能にある「子育てサロン」は、子育て世代の家族が気軽に交流できる場として保健福祉センター内に開設予定である「地域子育て支援センター」の子育て支援機能を活用する。

ただし、子育て世代をはじめとする多様な世代の相互交流の場の充実に向けて、図書館部門の開架閲覧機能である「児童開架・読み聞かせゾーン」や、文化会館部門の学習・創造機能である「会議・研修室」は子どもが快適に利用できる施設として整備する。

#### ■新たな付加機能に関して

- 図書館部門の調べ学習機能のうち「グループ学習室」は、従来の静寂な学習スペース、読書空間ではなく、近年、全国の大学で広がりを見せているラーニング・コモンズのように、市民が様々な情報資源から得られる情報を用いて、主体的に学習し、議論を進めていく学習スタイルを可能にする場として整備する。

#### ■配慮事項に関して

- 既存施設との連携を進めるにあたっては、施設の利用率の増加が推測されるため、施設の利用時間の細分化の検討が必要である。また、既存の各施設の利用料金については、利用者の負担軽減を図るため、新たな減免制度の導入など、施設利用を促進するための配慮も必要である。

#### ■その他

- 上記に関して、複合施設内での機能集約と既存施設との連携の可能性について、表1にまとめた。既存施設との連携による諸室の活用も一定認められることから、施設の総床面積については縮減を図ることも可能と考えられる。また、総合教育会議での再検討課題には含まれていなかったが、施設配置イメージ案の変更により施設が駅前に近接したことについては、社会教育委員会議や公民館運営審議会において、肯定的な意見が出されたことを付記しておく。

## まとめ

市長より、生涯学習複合施設についての再検討の要請を受けて5ヶ月余りの間、周辺の既存施設の利用実績等を勘案しつつ、多角的に検証作業を進めてきた。短期間での要請ではあったものの、慎重に検討を重ね、本報告書をまとめることができた。

再検討の内容においては、門真市生涯学習複合施設建設基本計画の策定から5年が経過し、この間の時間的経緯を前向きにとらえ、施設機能の見直しの視点に加え、社会の要請に応え、次世代の図書館にふさわしい付加機能の提言もできたのではないかと考える。

また、再検討の手法においても、社会教育委員や公民館運営審議会委員の専門的知見はもとより、利用者でもある市民の意見を聴取するなど、特定の意見に偏らないよう可能な限りの対応を行えたと考える。再検討にあたり、各委員並びに利用者の皆様から忌憚のない様々なご意見をいただいたことに感謝申し上げます。

我が国における近代図書館の歴史は100年余。全国でも新しい時代に即した図書館の整備が次々と進められており、少子化による人口の減少、急速な高齢化の進展を背景に、地域活性化及びまちづくりの拠点、地域の防災拠点などとして、図書館をはじめ、社会教育施設には幅広い役割が期待されている。教育委員会としても市民にとっての貴重な文化資本として生涯学習複合施設の整備を進める所存であるが、市長部局におかれても、複合施設を含めたまちづくりの円滑な進捗を図られることを期待する。

表1

| 区分      |         |  |  |  |
|---------|---------|--|--|--|
| 部門      | 機能      | 諸室   | 機能集約   | 既存施設との連携   |
| 図書館     | 開架閲覧機能  | 一般開架ゾーン<br>閲覧・ブラウジングゾーン<br>郷土資料ゾーン<br>参考資料ゾーン<br>児童開架・読み聞かせゾーン<br>ティーンズゾーン<br>CD・DVD視聴ゾーン<br>対面朗読ゾーン |  |  |
|         | 調べ学習機能  | 研究個室 + 個人学習室<br>グループ学習室 (複数) ←ラーニング・commons  |  |  |
|         | 情報通信機能  | 無線LANスポット<br>情報検索ゾーン   | ⇒付帯部門  |  |
|         | 資料保存機能  | 閉架書庫   |  |  |
|         | 事務・管理機能 | 窓口カウンターゾーン<br>資料整理室<br>事務室(事務的会議室を含む)  |  |  |
| 文化会館    | 学習・創造機能 | 個人学習室<br>会議・研修室(複数) + 絵画・工作・和室利用<br>多目的室(ダンス室、音楽室他) + 絵画・工作・和室利用<br>調理室<br>絵画室<br>工作室<br>和室          | ⇒図書館部門<br><br>⇒会議・研修室、多目的室<br>⇒会議・研修室、多目的室<br>⇒会議・研修室、多目的室 | ⇒門真市民文化会館<br>・市民交流会館<br>⇒公民館<br><br>⇒門真市民文化会館<br>・市民交流会館 |
|         | 発信・体感機能 | ホール(100人から150人程度、21室) ←パーティション有<br>展示ギャラリー   | ⇒付帯部門  |  |
| 付帯      | 滞留機能    | エントランス + 展示ギャラリー<br>交流・休憩スペース ←飲食可能(カフェ) + 展示ギャラリー<br>サポーターズスペース                                     |  |  |
|         | 飲食機能    | カフェ  | ⇒交流・休憩スペース   |  |
|         | 子育て支援機能 | キッズパーク<br>子育てサロン<br>授乳室  |  | ⇒総合体育館<br>⇒保健福祉センター                                      |
|         | 情報発信機能  | 学習情報コーナー<br>情報発信工房 + 情報検索ゾーン   |  |  |
| 管理・サービス | 事務・管理機能 | 事務室<br>給湯室<br>更衣室<br>倉庫  |  |  |
|         | サービス機能  | トイレ<br>給湯室<br>廊下・階段室・エレベーター<br>機械・設備室<br>その他   |  |  |
|         | 防災機能    | 諸室・設備  |  |  |

※ 諸室の配置については各機能を厳守しつつ、設計段階において柔軟に提案できることとする

平成30年7月25日

門真市教育委員会 様

門真市社会教育委員会議  
議長 萩原 雅也

「生涯学習複合施設」について（意見書）

平成30年度第1回門真市社会教育委員会議において、「生涯学習複合施設」について審議し、別紙の通り意見をとりまとめましたのでご報告いたします。

## 生涯学習複合施設について（意見書）

## 1. 施設の在り方について

- ・市民の交流の場となって地域課題に取り組み、人と人との繋がりとなることで市民の活性化が期待できる施設となってほしい。
- ・何のための施設かを市民に分かりやすく伝える柱となるものが必要である。
- ・利用しやすい施設となるよう適切な料金設定など、既存のシステムの見直しも検討してはどうか。

## 2. 施設配置イメージ案の変更について

- ・駅からさらに近くなることに加えて、商業施設がまとまっているので、利用者の利便性が高まりメリットが大きい。
- ・イベントなどアクティブに使える交流広場から遮るものがなく施設が見えることは、まさに門真の顔になるような立地であると言える。
- ・隣接する商業ゾーンに文化の薫るテナントやカフェを戦略的に誘導し、図書館との交流を進めていくことにより、ゾーンそのものが複合的に商業施設も含めた文化施設になるのではないか。
- ・商業ゾーンの事業者には、子どもの教育と市民の生涯学習について一定の貢献や発信をしてもらえるような企業を選定してほしい。

## 3. 既存施設との連携による機能分散の考え方について

- ・図書館のグループ学習室には、机と椅子が可動式で主体的に学び・話し合えるラーニング・コモンズを取り入れ、飲食が可能で多様な交流ルームともなるように検討してほしい。
- ・施設の利用率の高い諸室は、複合施設にも設ける方向で検討し、利用率が低く用途が限定された諸室は、多目的な機能を持った諸室に集約するなど工夫が必要である。
- ・子育て支援機能において、保健福祉センターとの連携で専門的な諸室の必要性はなくなったが、親子が利用しやすい設備は残すべきである。

## 4. 他の個別計画との整合性について

- ・計画から5年が経過しもう一度見直すことは必要である。
- ・門真市公共施設等総合管理計画に貢献できるように新しい施設への集約や、学校施設を含む既存施設の利用は検討の余地がある。

## 議案第26号

### 平成30年度全国学力・学習状況調査結果の公表について

平成30年度全国学力・学習状況調査の公表内容について、教育委員会の議決を求める。

平成30年 8 月30日 提出

門真市教育委員会教育長 久木元 秀平

### 提案理由

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果が7月24日に公表されたことに伴い、本市の結果概要を教育委員会で報告するとともに、市民に対してホームページ等で公表する内容についての議決を得るため本案を提出するものである。

平成30年度 全国学力・学習状況調査  
結果概要（公表内容）

- 1 小・中学校 結果概要
- 2 小学校（国語・算数・理科）  
標準化得点を活用した過去8年間の推移（理科は平成27年度と30年度のみ）
- 3 中学校（国語・数学・理科）  
標準化得点を活用した過去8年間の推移（理科は平成27年度と30年度のみ）
- 4 児童生徒質問紙・学校質問紙の主な概要

議案第27号

平成30年度教育費補正予算の見積り申出について

平成30年度教育費補正予算の見積りを次のとおり門真市長に申し出るにつき、教育委員会の議決を求める。

平成30年 8 月 30日 提出

門真市教育委員会教育長 久木元 秀平

平成30年度教育費補正予算見積書

歳出

(款) 教育費 (項) 教育総務費

| 目    | 補正前の額        | 補正額       | 計            | 節  |           | 説明   |
|------|--------------|-----------|--------------|----|-----------|--|
|      |              |           |              | 区分 | 金額        |  |
| 事務局費 | 千円<br>34,565 | 千円<br>124 | 千円<br>34,689 | 旅費 | 千円<br>124 | 千円<br>○施策評価対象外事業<br>病休等代替アルバイト配置事業 124<br>旅費<br>費用弁償 124 |

(款) 教育費 (項) 社会教育費

| 目    | 補正前の額        | 補正額       | 計            | 節  |           | 説明   |
|------|--------------|-----------|--------------|----|-----------|--|
|      |              |           |              | 区分 | 金額        |  |
| 図書館費 | 千円<br>64,726 | 千円<br>213 | 千円<br>64,939 | 旅費 | 千円<br>213 | 千円<br>○図書館活動の充実<br>図書館運営事業 208<br>旅費<br>費用弁償 208<br>図書館市民プラザ分館運営事業 5<br>旅費<br>費用弁償 5 |

## 議案第28号

### 門真市教育委員会点検・評価報告書の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により門真市議会に門真市教育委員会点検・評価報告書を提出するにつき、教育委員会の議決を求める。

平成30年 8 月30日 提出

門真市教育委員会教育長 久木元 秀平

### 提案理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により別添の門真市教育委員会点検・評価報告書を門真市議会に提出するにつき、本案を提出するものである。

諸 報 告

| 番 号 | 報 告 事 項               |
|-----|-----------------------|
| 1   | 門真市魅力ある教育づくり審議会答申について |
| 2   | 平成30年度門真市教育研究指定校について  |
| 3   | 平成31年度門真市立幼稚園児の募集について |